

2027年度

学 生 募 集 要 項

東アジア文化研究科

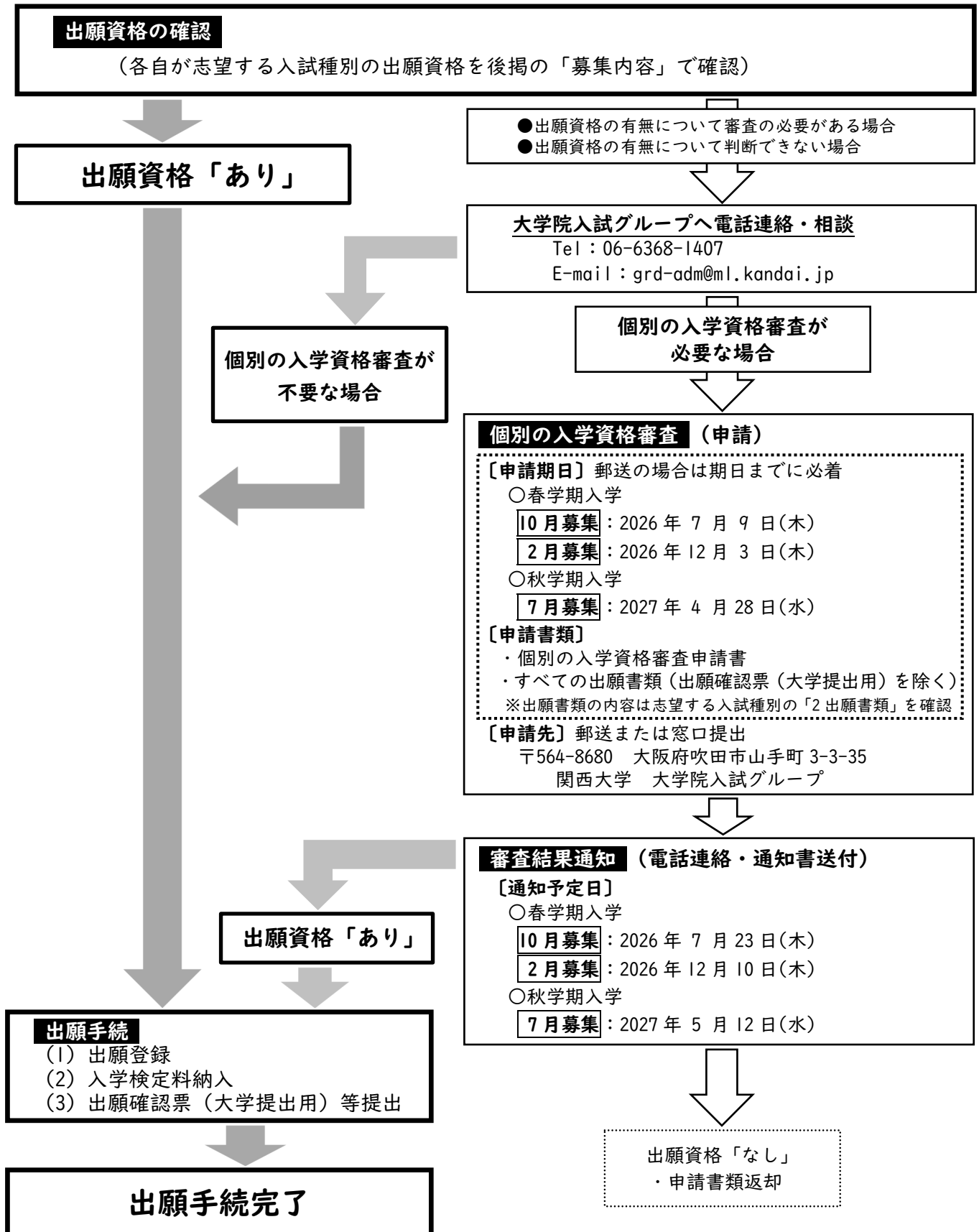
大学院入試情報サイトに掲載している
『学生募集要項 別冊(研究科共通)』も必ずご確認ください。

関西大学大学院

目 次

I	出願前の確認	1
II	入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)	2
III	2027年度入学試験日程および各種手続期間一覧	2～3
IV	募集内容	4
■	博士課程前期課程 募集研究科・専攻および入学定員	4
	一般入学試験(春学期入学・秋学期入学)	5～7
	外国人留学生入学試験(春学期入学・秋学期入学)	8～10
	社会人入学試験(春学期入学・秋学期入学)	11～14
	飛び級入学試験(春学期入学)	15～16
	2027年度 東アジア文化研究科 必修科目および担任者一覧(博士課程前期課程)	17
	長期履修学生制度について	18
■	博士課程後期課程 募集研究科・専攻および入学定員	19
	一般入学試験(春学期入学・秋学期入学)	20～22
	外国人留学生入学試験(春学期入学・秋学期入学)	23～25
	社会人入学試験(春学期入学・秋学期入学)	26～28
	2027年度 東アジア文化研究科 必修科目および担任者一覧(博士課程後期課程)	29
V	出願書類に関する注意事項	30～31

I 出願前の確認



出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。
ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

II 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前期課程

東アジア文化研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。

- 1 東アジア文化に関して、学士課程修了相当の基礎的な知識を有し、口頭発表や論文執筆によって発信するための基本的能力を有している。
- 2 東アジア文化研究の研究方法に立脚して、自らの研究課題を設定することができる。
- 3 東アジア文化に対する深い関心を持ち、自らの専門的知識によって知識基盤社会の発展に寄与する意欲を持っている。

後期課程

東アジア文化研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を求めます。

- 1 東アジア文化の専門的な研究内容および方法について、博士課程前期課程（修士課程）修了相当の知識を有し、自らの研究成果を口頭発表や論文執筆によつて的確に、かつ国際的に発信するための専門的能力を有している。
- 2 東アジア文化研究の研究方法に立脚して、自らの研究課題を設定し展開することができる。
- 3 東アジア文化の高度な研究に対する深い関心と自立した研究者としての自覚を持ち、専門的知識の継承と創造を通じて、知識基盤社会の発展を先導する意欲を持っている。

III 2027年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、出願登録、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。

出願登録のみでは出願したものとして取り扱いません。

出願に際しては本冊子および『学生募集要項 別冊（研究科共通）』に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

【春学期入学】

日程	10月募集		2月募集	
入学定員	【文化交渉学専攻】 前期課程：18名 後期課程：12名			
課程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
入試種別	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 ■飛び級入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験
出願登録期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2026年8月21日(金)～9月4日(金)		2026年12月18日(金)～2027年1月8日(金)	
受験票ダウンロード 開始日	2026年10月5日(月)		2027年2月15日(月)	
試験日	2026年10月11日(日) (予備日)2026年10月25日(日)		2027年2月20日(土) (予備日)2027年2月21日(日)	
合格者発表日	2026年10月16日(金) (予備日)2026年10月30日(金)		2027年2月26日(金)	
入学手続Ⅰ-(1)	2026年10月16日(金)～10月30日(金) (予備日)2026年10月30日(金)～11月13日(金)		2027年2月26日(金)～3月15日(月)	
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2027年2月15日(月)～3月15日(月)			

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【秋学期入学】

日 程	7 月 募 集	
入学定員	【文化交渉学専攻】 前期課程：18 名 後期課程：12 名	
課 程	前期課程	後期課程
入試種別	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験 	<ul style="list-style-type: none"> ■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験
出願登録期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2027 年 5 月 20 日(木)～6 月 3 日(木)	
受験票ダウンロード 開始日	2027 年 7 月 5 日(月)	
試験日	2027 年 7 月 11 日(日) (予備日)2027 年 7 月 25 日(日)	
合格者発表日	2027 年 7 月 16 日(金) (予備日)2027 年 7 月 30 日(金)	
入学手続 I-(1)	2027 年 7 月 16 日(金)～7 月 30 日(金) (予備日)2027 年 7 月 30 日(金)～8 月 23 日(月)	
入学手続 I-(2) 入学手続 II	2027 年 8 月 20 日(金)～9 月 3 日(金)	

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日 7 時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト (<https://kansaignradsch.kansai-u.ac.jp/>) で別途案内しています。

IV 募集内容

東アジア文化研究科（博士課程前期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
東アジア文化研究科	文化交渉学専攻	18名

注 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

M 一般入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、ます。

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、30～31 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
出願確認票(大学提出用)【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業(見込)証明書【④】	<p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>【出願資格(2)による志願者は卒業証明書に代えて次の(a)または(b)の書類を、出願資格(6)による志願者は卒業証明書に加えて次の(a)の書類を提出してください】</p> <p>(a)学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>(b)学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書 (申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p>
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙(横書き 40 字×36 行)を使用して作成してください。
在留カードまたはパスポートの写し【⑥】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1 枚	出願前 3 カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

なお、東アジア文化研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験時間

筆記試験		口頭試問
専門科目	外国語	筆記試験終了後
行いません	10:00～11:30 (90分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

6 試験科目および配点 (計 300 点)

筆記試験 (外国語 (※))	口頭試問 (専門科目)
100 点	200 点
英語・ドイツ語・フランス語・中国語 (現代中国語)・ロシア語・スペイン語・朝鮮語・日本語から1言語を選択 (母語・母国語を除く)	口頭試問 (専門科目) の内容について ① 専攻に関わる基礎的な専門知識 ② 入学後の研究テーマと研究方法 ③ これまでの研究内容等 (卒業論文等)

※ 外国語試験について

- ① 外国語試験における辞書等の参照は不許可
- ② 外国語の選択について不明な点があれば、大学院入試グループにお問い合わせください。

M 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(4)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者（注1）
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (4) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)と同様とみなす。

- ・日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・日本にある外国人学校
- ・文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

（注1）修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

（注2）外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、30～31ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
出願確認票（大学提出用）【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能（カラー印刷推奨）。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学等の卒業（見込）証明書【④】	<p>卒業（見込）であること、入学年月および卒業（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(3)による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
日本語による研究計画書【⑤】	<p>概要 1,000 字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等で A4 用紙（横書き 40 字×36 行）を使用して作成してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。</p> <p>なお、修整・加工したものは不可。</p>

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

なお、東アジア文化研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験時間

筆記試験		口頭試問
専門科目	外国語	筆記試験終了後
行いません	10:00~11:30 (90分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

6 試験科目および配点 (計 300 点)

筆記試験 (外国語 (※))	口頭試問 (専門科目)
100 点	200 点
日本語	口頭試問 (専門科目) の内容について ①専攻に関わる基礎的な専門知識 ②入学後の研究テーマと研究方法 ③これまでの研究内容等 (卒業論文等)

※ 外国語試験における辞書等の参照は不許可

M 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 特徴

社会人入学試験は、これまでの経験や実績を踏まえて、研究計画書および業績報告書を提出していただくことにより、専門科目・外国語の筆記試験を免除します。口頭試問により合否を決定しますので、自分の志望する研究分野（必修科目）に集中することができます。

II カリキュラム

各自の研究テーマに沿った修士論文を作成できるよう、必修科目の演習を中心に履修します。より研究を深めるために、指導教員の許可を得て、他研究科や他大学院（同志社、立命館、関西学院など）の授業科目を履修することも可能です。

III 修業年限

通常の2年コースに加え、3年コースも選択できます。詳細は、後掲の「長期履修学生制度について」をご覧ください。

IV 専修免許状

該当する教科の中学校・高等学校一種免許状を有し、各専修所定の24単位を修得した場合は、修了と同時に専修免許状を取得できます。

I 出願資格

次の(1)および(2)の条件を満たす者

(1) 次のア～コのいずれかに該当する者

(本研究科入学までに、ア～クいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

ア 大学を卒業した者

イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者

ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

カ 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）

キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

ケ 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者

コ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

(2) 次のア～ウのいずれかに該当する者

ア (1)-ア～クのいずれかの要件を満たした後、入学時において3年以上経過する者

イ 出願時において、企業、官公庁、教育・研究機関等において2年以上勤務している者または経験を有する者

ウ 本大学院において、個別の入学資格審査により、イに準ずる職歴を有すると認められた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-ケ、(1)-コまたは(2)-ウに該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、30～31 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
出願確認票(大学提出用)【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業(見込)証明書【④】	<p>卒業(見込)であること、入学年月および卒業(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(I)-イによる志願者は、卒業証明書に代えて学位授与証明書を提出してください。</p> <p>また出願資格(I)-カによる志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	<p>概要1,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等で、A4用紙(横書き40字×36行)を使用して作成してください。</p>
業績報告書【⑥】	<p>在職中の研究業績内容または業務内容の概要1,000字程度</p> <p>原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等で、A4用紙(横書き40字×36行)を使用して作成してください。</p>
研究業績がある場合には、抜刷またはその写し【⑦】 ★該当者のみ	<p>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し各4部</p> <p>印刷出力が難しい場合は、電子媒体そのものでも可</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑧】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。</p> <p>なお、修整・加工したものは不可。</p>

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、東アジア文化研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目および配点

筆記試験	口頭試問 (300点)
行いません	口頭試問（専門科目）の内容について ① 専攻に関わる基礎的な専門知識 ② 入学後の研究テーマと研究方法 ③ これまでの研究内容等

注 口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

M 飛び級入学試験（春学期入学：2月募集）

1 募集の趣旨

近年における学術研究の進展や急速な技術革新、産業構造の変化、情報化・国際化の進展に伴い、より一層高度の専門能力を身につけた人材の養成が求められています。東アジア文化研究科では、これらの時代的要請に応えて、飛び級制度を設けています。

この制度は、成績優秀な学部学生にその卒業を待たず3年次終了時から大学院入学を認め、早期に高度な専門的教育の機会を与えることを目的とするものです。

2 出願資格

次の(1)～(3)のすべての条件を満たす者

- (1) 大学の3年次に在学している者
ただし、休学期間は在学期間に含めないものとする。
- (2) 受験年度の3月末において、卒業所要単位の修得単位数が100単位以上である者または修得単位数が100単位以上になる見込みである者
- (3) 出願時までの全ての修得科目の成績で、「優」以上の割合が75%以上である者

3 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、30～31 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備 考
出願確認票（大学提出用）【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能（カラー印刷推奨）。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
在学大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在学出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>

在学証明書【④】	休学期間のある者は、その期間を明記したものを提出してください。
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 原本 1 部とその写し 3 部 パソコン等で A4 用紙（横書き 40 字×36 行）を使用して作成してください。
修得単位数が 100 単位以上になることを証明する書類（履修証明書、履修届の写し等）【⑩】 ★該当者のみ	出願時に卒業所要単位の修得単位数が 100 単位を超えていない者のみ提出してください。
在留カードまたはパスポートの写し【⑪】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。 【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。
写真 1 枚	出願前 3 カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。

4 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

5 可否判定基準

口頭試問の得点の高位順に可否を決定します。

なお、東アジア文化研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

6 試験科目および配点

筆記試験	口頭試問 (300 点)
行いません	口頭試問（専門科目）の内容について ① 専攻に関わる基礎的な専門知識 ② 入学後の研究テーマと研究方法 ③ これまでの研究内容等

注 口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

7 特記事項

本制度により入学した者は、学部を 3 年次で退学することになり、学士の学位は授与されないこととなります。

注 出願に際しては、志望する担任者を選択してください。
 ただし、※印の担任者については、事前に大学院入試グループに相談してください。
なお、必修科目および担任者については変更することがあります。変更が生じた場合は、
 大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <<https://kansai-gradsch.kansai-u.ac.jp/>>

(2026年4月現在)

2027年度 東アジア文化研究科 必修科目および担任者一覧 (博士課程前期課程)

文化交渉学専攻

					担任者コード*
必修科目 (領域)	文化交渉学 (東アジアの言語と表象)	教授	博(文)早大	池田 智恵 (近現代中国文学)	70774
		教授	博(文化交渉学)関大	石崎 博志 (中国語史 琉球方言史)	77407
		教授	博(文)関大 博(文化交渉学)関大	奥村 佳代子 (中国語受容史 中国語学)	58897
		教授	博(文)九大	長谷部 剛 (中国古典文学)	67031
	文化交渉学 (東アジアの思想と構造)	教授	博(文)東洋大 博(文化交渉学)関大	二階堂 善弘 (東アジアの民衆文化 道教史)	64018
		准教授	博(学術)九大	韓 淑婷 (近世・近代日本思想史 日中近代化)	77906
	文化交渉学 (東アジアの歴史と動態)	教授	博(文)筑波大	池尻 陽子 (東アジア近世史 チベット仏教文化圏の交渉史)	72652
		教授	博(文)高麗大	篠原 啓方 (朝鮮古代史 韓国・朝鮮文化)	71650
		教授	博(文)関大	藤田 高夫 (東アジア古代史 近代学術形成史)	97202
		准教授	博(文)大阪大	吉川 和希 (近世ベトナム史 近世東アジアの国際関係)	76911

長期履修学生制度について

東アジア文化研究科では、大学院入学者の多様なニーズに対応し、教育研究の機会を拡充するため、従来の博士課程前期課程における2年コースの他に修業年限を3年とし、授業科目を計画的に履修する「3年コース」を実施しています。この制度の特徴は下記のとおりです。

(1) 履修制限単位

本制度により入学する者には、履修制限単位数を変更します。

コース	1年次	2年次	3年次
2年コース	30	30	—
3年コース	20	20	20

(2) 3年コースにおける授業科目の配当年次

東アジア文化研究科	修士論文の研究指導科目である演習(1)A・(1)Bを1年次配当、演習(2)A・(2)Bを3年次配当とし、修士論文提出は3年次とします。
-----------	---

(3) 在学期間の途中変更

2年次に進む段階で、研究科において定められた次の条件を満たす場合は、願い出により、3年コースから2年コースへ変更することができます。その場合、2年次の履修制限単位数は30単位とします。

なお、対象者には1年次の秋学期（秋学期入学者については1年次の春学期）にインフォメーションシステムにてお知らせします。

ただし、2年コースから3年コースへの変更はできません。

東アジア文化研究科	1年次終了時に修士論文の提出要件である20単位を修得していること
-----------	----------------------------------

(4) 在学年限

在学年限は2年コース、3年コースとも4年です。

(5) 修了要件

修了要件は2年コース、3年コースともに同じです。3年コースでは、2年コースと同じ修了要件を3年かけて履修します。詳細は関西大学教務ガイド「KAN-CAN!」を参照してください。

(6) 学費

在学期間を途中で変更（3年から2年）した場合の学費総額は、標準修業年限（2年）の学費総額と同額となります（正確な納入金額については、手続き時にご確認ください）。

長期履修学生制度により3年コースを希望する場合は、出願登録の際に「長期履修学生制度」欄で「3年コース」を選択してください。どちらのコースを選択しても合否判定には関係ありません。

なお、合格後に選択したコースの変更を希望する場合は、春学期入学：2027年1月8日（金）まで、秋学期入学：2027年7月23日（金）までに、大学院入試グループまでその旨をご連絡ください。

また、2月募集の合格者は、入学前にコース変更を申し出ることはできませんのでご注意ください。

東アジア文化研究科（博士課程後期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
東アジア文化研究科	文化交渉学専攻	12名

注 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

D 一般入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

【10月募集】

次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たす者

（2026年10月までに、(1)～(5)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

【2月募集】 【7月募集】

次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(5)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(6)または(7)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、30～31 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票(大学提出用)【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学院の修了(見込)証明書【④】	<p>修了(見込)であること、入学年月および修了(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙(横書き40字×36行)を使用して作成してください。</p> <p>すでに刊行された論文等の研究業績があれば、研究計画書の末尾に、論文名・掲載誌名・刊行年月日・ページ数などを記入してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。</p> <p>なお、修整・加工したものは不可。</p>
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の概要【⑥】※	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙(横書き40字×36行)を使用して作成してください。</p>
修士論文の写し【⑦】※	4部

出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】※	2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書40字×36行)を使用して作成してください。
修士論文として提出予定の論文 または論文の草稿の写し【⑦】※	4部
出願資格(6)または(7)で出願する者もしくは 専門職学位を有する者(または取得見込みの者)で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	研究業績または業務内容の概要2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×36行)を使用して作成してください。
研究業績の抜刷またはその写し【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し 各4部

※ 2027年3月修了見込みの者が2月募集に出願する場合、「修士論文の概要【⑥】」および「修士論文の写し【⑦】」に限り、2027年1月15日(金)まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。ただし、2027年1月15日(金)時点においても修士論文の概要および修士論文の写しを提出できない場合は、出願書類提出期間に「修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】」と「修士論文として提出予定の論文または論文の草稿の写し【⑦】」を提出してください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

なお、東アジア文化研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験時間

筆記試験		口頭試問
専門科目	外国語	筆記試験終了後
行いません	10:00～11:30(90分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

6 試験科目および配点(計300点)

筆記試験(外国語(※))	口頭試問(専門科目)
100点	200点
英語・ドイツ語・フランス語・中国語(現代中国語)・ロシア語・スペイン語・朝鮮語・日本語から1言語を選択(母語・母国語を除く)、あるいはそれに代えて古文書または漢文を選択	口頭試問(専門科目)の内容について ① 専攻に関わる専門知識 ② 入学後の研究テーマと研究方法 ③ 修士論文の内容等

※ 外国語試験について

- ① 外国語試験における辞書等の参照は不許可
- ② 外国語の選択について不明な点があれば、大学院入試グループに問い合わせてください。

D 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

【10月募集】

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（2026年10月までに、(1)～(3)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

【2月募集】 【7月募集】

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(3)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(4)または(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、30～31ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票（大学提出用）【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能（カラー印刷推奨）。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る

<p>出身大学院の成績証明書【③】</p>	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
<p>出身大学院の修了（見込）証明書【④】</p>	<p>修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
<p>日本語による研究計画書【⑤】</p>	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×36行）を使用して作成してください。</p> <p>すでに刊行された論文等の研究業績があれば、研究計画書の末尾に、論文名・掲載誌名・刊行年月日・ページ数などを記入してください。</p>
<p>在留カードまたはパスポートの写し【⑩】</p>	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。</p> <p>なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
<p>写真 1枚</p>	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。</p> <p>なお、修整・加工したものは不可。</p>
<p>出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者</p>	
<p>修士論文の概要【⑥】※</p>	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×36行）を使用して作成してください。</p>
<p>修士論文の写し【⑦】※</p>	<p>4部</p>
<p>出願資格(1)～(3)で出願する者のうち、修士論文を提出予定の者</p>	
<p>修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】※</p>	<p>2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×36行）を使用して作成してください。</p>
<p>修士論文として提出予定の論文 または論文の草稿の写し【⑦】※</p>	<p>4部</p>
<p>出願資格(4)または(5)で出願する者もしくは 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合</p>	
<p>業績報告書【⑧】</p>	<p>研究業績または業務内容の概要 2,000字程度</p> <p>原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×36行）を使用して作成してください。</p>
<p>研究業績の抜刷またはその写し【⑨】</p>	<p>学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し 各4部</p>

※ 2027年3月修了見込みの者が2月募集に出願する場合、「修士論文の概要【⑥】」および「修士論文の写し【⑦】」に限り、2027年1月15日(金)まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。ただし、2027年1月15日(金)時点においても修士論文の概要および修士論文の写しを提出できない場合は、出願書類提出期間に「修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】」と「修士論文として提出予定の論文または論文の草稿の写し【⑦】」を提出してください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

筆記試験および口頭試問の総合得点の高位順に合否を決定します。

なお、東アジア文化研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験時間

筆記試験		口頭試問
専門科目	外国語	筆記試験終了後
行いません	10:00 ~ 11:30 (90分)	

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

6 試験科目および配点 (計300点)

筆記試験 (外国語 (※))	口頭試問 (専門科目)
100点	200点
英語・ドイツ語・フランス語・中国語(現代中国語)・ロシア語・スペイン語・朝鮮語・日本語から1言語を選択(母語・母国語を除く)	口頭試問(専門科目)の内容について ① 専攻に関わる専門知識 ② 入学後の研究テーマと研究方法 ③ 修士論文の内容等

※ 外国語試験について

- ① 外国語試験における辞書等の参照は不許可
- ② 外国語の選択について不明な点があれば、大学院入試グループへ問い合わせてください。

D 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

I 出願資格

【10月募集】

次の(1)および(2)の条件を満たす者

(1) 次のア～キのいずれかに該当する者

- ア 修士の学位または専門職学位を有する者
- イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

- ア 入学時において、企業、官公庁、教育・研究機関等において2年以上勤務している者または経験を有する者でかつ本研究科入学までに27歳に達する者
- イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認められた者

【2月募集】 【7月募集】

次の(1)および(2)の条件を満たす者

(1) 次のア～キのいずれかに該当する者

（本研究科入学までにア～オのいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- ア 修士の学位または専門職学位を有する者
- イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

ア 入学時において、企業、官公庁、教育・研究機関等において2年以上勤務している者または経験を有する者でかつ本研究科入学までに27歳に達する者

イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認められた者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(1)-カ、(1)-キまたは(2)-イに該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、30～31 ページの「V 出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出してください。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
出願確認票(大学提出用)【①】	出願登録および入学検定料の納入完了後に印刷可能(カラー印刷推奨)。
志望理由書【②】	本学所定の用紙 ★本人自筆に限る
出身大学院の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学院の修了(見込)証明書【④】	<p>修了(見込)であること、入学年月および修了(見込)年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に、上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了(見込)証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	<p>概要2,000字程度 原本1部とその写し3部</p> <p>パソコン等で、A4用紙(横書き40字×36行)を使用して作成してください。</p>
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	<p>【日本国内在住者】 在留カードの両面をコピーしたもの。</p> <p>【日本国外在住者】 パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限が記載されているページをコピーしたもの。 なお、パスポートを所持していない者は、出身国が発行する身分証等のコピーを提出してください。</p>
写真 1枚	<p>出願前3カ月以内に撮影されたものを志望理由書に貼付してください。 なお、修整・加工したものは不可。</p>

出願資格(1)-ア～オで出願する者のうち、すでに修士論文を提出済みの者	
修士論文の概要【⑥】※	2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×36行)を使用して作成してください。
修士論文の写し【⑦】※	4部
出願資格(1)-ア～オで出願する者のうち、修士論文を提出予定の者	
修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】※	2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×36行)を使用して作成してください。
修士論文として提出予定の論文 または論文の草稿の写し【⑦】※	4部
研究業績がある場合には、 抜刷またはその写し【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し 各4部
出願資格(1)-カまたは(1)-キで出願する者もしくは 専門職学位を有する者(または取得見込みの者)で修士論文を作成していない場合	
業績報告書【⑧】	研究業績または業務内容の概要2,000字程度 原本1部とその写し3部 パソコン等でA4用紙(横書き40字×36行)を使用して作成してください。
研究業績の抜刷またはその写し【⑨】	学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し 各4部

※ 2027年3月修了見込みの者が2月募集に出願する場合、「修士論文の概要【⑥】」および「修士論文の写し【⑦】」に限り、2027年1月15日(金)まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。ただし、2027年1月15日(金)時点においても修士論文の概要および修士論文の写しを提出できない場合は、出願書類提出期間に「修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】」と「修士論文として提出予定の論文または論文の草稿の写し【⑦】」を提出してください。

3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 合否判定基準

口頭試問の得点の高位順に合否を決定します。

なお、東アジア文化研究科で学ぶために必要不可欠な素養を評価・審査するため、合格者数が入学定員を満たさない場合があります。

5 試験科目および配点

筆記試験	口頭試問(300点)
行いません	口頭試問の内容について 提出した修士論文およびその他の学術論文、研究計画書、業績報告書等(200点)並びに専門科目および外国語(英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語、日本語から1言語を選択※)の知識・能力(100点)について試問する。 なお、外国語には、漢文を含めることができるものとする。 (口頭試問の外国語は、出願登録の際に選択してください。) ※母語・母国語を除く

注 口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。

注 出願に際しては、志望する担任者を選択してください。
 ただし、※印の担任者については、事前に大学院入試グループに相談してください。
なお、必修科目および担任者については変更することがあります。変更が生じた場合は、
大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。

<<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>>

(2026年4月現在)

2027年度 東アジア文化研究科 必修科目および担任者一覧 (博士課程後期課程)

文化交渉学専攻

					担任者コード*
必修科目 (領域)	文化交渉学 (東アジアの言語と表象)	教授	博(文)早大	池田 智恵 (近現代中国文学)	70774
		教授	博(文化交渉学)関大	石崎 博志 (中国語史 琉球方言史)	77407
		教授	博(文)関大 博(文化交渉学)関大	奥村 佳代子 (中国語受容史 中国語学)	58897
		教授	博(文)九大	長谷部 剛 (中国古典文学)	67031
	文化交渉学 (東アジアの思想と構造)	教授	博(文)東洋大 博(文化交渉学)関大	二階堂 善弘 (東アジアの民衆文化 道教史)	64018
	文化交渉学 (東アジアの歴史と動態)	教授	博(文)筑波大	池尻 陽子 (東アジア近世史 チベット仏教文化圏の交渉史)	72652
		教授	博(文)高麗大	篠原 啓方 (朝鮮古代史 韓国・朝鮮文化)	71650
		教授	博(文)関大	藤田 高夫 (東アジア古代史 近代学術形成史)	97202
		准教授	博(文)大阪大	吉川 和希 (近世ベトナム史 近世東アジアの国際関係)	76911

V 出願書類に関する注意事項

受理した書類は返却いたしません。

1 志望理由書について

- (1) 必ず黒のインクまたはボールペン（消せるボールペンは除く）で記入してください。
- (2) 出願後、志望必修科目（領域）・志望担任者および受験外国語の変更は一切認めません。
- (3) 次の①～③を参照のうえ、各自が志望する必修科目（領域）および担任者を選択してください。
ただし、志望担任者（指導教員）は研究指導上の観点から変更する場合があります。

① **博士課程前期課程** 本募集要項 17ページ

「2027年度 東アジア文化研究科 必修科目および担任者一覧（博士課程前期課程）」

博士課程後期課程 本募集要項 29ページ

「2027年度 東アジア文化研究科 必修科目および担任者一覧（博士課程後期課程）」

- ② 東アジア文化研究科ウェブサイト (<https://www.kansai-u.ac.jp/eas>)
 - ③ 関西大学大学院Information
- (4) 記入する氏名は、住民票、パスポートまたは在留カードに基づいて記入してください。

なお、外国人留学生の氏名はカタカナまたは漢字・アルファベットを使用してください（ひらがな不可）。

また、出願登録において代用漢字等を使用した場合については、出願書類と出願登録上の文字が異なっても問題ありません。

- (5) 学歴事項欄には通学したすべての教育機関（小学校～大学・大学院）について古い順番に記入してください。大学・大学院の経歴、転学部・編入学・留学等（科目等履修生を含む）の経歴がある場合はすべて記入してください。また、日本語学校や研究生としての所属大学・大学院についても記入してください。なお、大学・大学院における学部・学科名および研究科・専攻名は証明書記載の内容と一致するよう、省略せず、正しく記入してください。
- (6) 卒業（修士）論文論題欄は、仮題でもかまいませんので必ず記入してください。
なお、卒業（修士）論文を作成していない場合は「なし」と記入してください。
また、指導教員がない場合は、「なし」と記入してください。

2 研究計画書について

必ず氏名を明記してください。

3 その他

- (1) 成績証明書、卒業・修了（見込）証明書は原本を提出してください。

（注）原本とは、出身大学（院）等が紙媒体で発行する証明書*です。

*PDF 等のファイル形式をプリントアウトしたものは該当しません。なお、PDF 等のファイル形式をプリントアウトしたもの以外は発行されない場合、プリントアウトしたものに出身大学（院）等でインクスタンプを押印したものを提出すること。

提出された各証明書は返却できませんので、再発行不可等の理由により原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた「公証書(公証処が発行したもの・日本の公証役場は不可)」を提出してください。

各証明書の有効期限はありません。内容が最新のものであれば、過去に取得した証明書でも構いません。

各証明書は、日本語、英語または中国語で書かれているものを有効書類とします。それ以外の言語で書かれている場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた日本語または英語の訳文を提出してください。

志望理由書の「学歴事項」欄において、大学・学部・学科名を記入するときには、証明書が英語で書かれている場合は日本語に訳し、中国語で書かれている場合は日本漢字に置き換え、日本の漢字にないものは意識してください。

例) School of Foreign Languages → 外国語学部

旅游与历史文化学院 → 旅游与歴史文化学部

- (2) 必要に応じて、別途書類の提出を求める場合があります。
- (3) 証明書記載の氏名と出願時の氏名が異なる場合は、同一人であることがわかる公的な証明書(戸籍抄本・戸籍個人事項証明書等)を別途提出してください。
- (4) 出願期間内に出願書類が整わない場合、出願を認めないことがあります。
- (5) 出願に関するお問い合わせは、日曜日、祝日および以下の期間以外にお願いします。
 - ・2026年8月1日(土)～9月20日(日)の間の土曜日
 - ・2026年8月11日(火・祝)～8月20日(木)
 - ・2026年12月26日(土)～2027年1月6日(水)
 - ・2027年8月1日(日)～9月20日(月・祝)の間の土曜日
 - ・2027年8月11日(水・祝)～8月20日(金)
- (6) 出願書類の記載事項が事実と異なる場合、不正がある場合は、受験および入学の資格を取り消します。



関西大学大学院

<https://kansaigradsch.kansai-u.ac.jp/>

千里山キャンパス

法学研究科 文学研究科 経済学研究科 商学研究科 社会学研究科 理工学研究科
外国語教育学研究科 心理学研究科 東アジア文化研究科 ガバナンス研究科

問合せ先：入試センター大学院入試グループ

〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35 TEL 06-6368-1121 (大代表)

mailフォーム https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/qa/

高槻キャンパス

総合情報学研究科

問合せ先：高槻オフィス

〒569-1095 高槻市霊仙寺町 2-1-1 TEL 072-690-3213 (直通)

E-mail: k-soujyo@ml.kandai.jp

高槻ミューズキャンパス

社会安全研究科

問合せ先：高槻ミューズキャンパス事務グループ (ミューズオフィス)

〒569-1098 高槻市白梅町 7-1 TEL 072-684-4000 (代表)

E-mail: safety_science@ml.kandai.jp

堺キャンパス

人間健康研究科

問合せ先：堺キャンパス事務室

〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町 1-11-1 TEL 072-229-5022 (代表)

E-mail: sakai-adm@ml.kandai.jp